

第16回 岐阜文学散歩タウンウォッチング《開催結果》

平成22年11月23日(火・祝)

『美濃』の新機軸 ～〈天性の小説家〉小島信夫～

講師



林 正子 先生

- 岐阜大学副学長・地域科学部教授
- 日本近代文学専攻
- 著書『異郷における森鷗外、その自己像獲得への試み』他

コース案内



富樫 幸一 先生

- 岐阜大学地域科学部教授
- 経済地理学専攻

主催：ぎふまちづくり団体交流会、(財)岐阜市にぎわいまち公社、岐阜市
後援：ぎふまちづくりセンター、岐阜市教育委員会
協力：徹明・明德・梅林自治会連合会、岐阜市商店街振興組合連合会、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会、美殿町商店街振興組合、美殿町通り都市景観まちづくり推進協議会、ふれあい梅林ネットワーク、美殿町まちづくり委員会、小島信夫文学賞の会

今回は、岐阜市加納出身の小説家「小島信夫」の『美濃』という作品を題材として、岐阜との関わり・繋がりを紐解きながら、〈天性の小説家〉といわれた所以を、講師の林正子先生に解き明かしていただきました。また小説の中の登場人物を、実在する人物と当てはめたり、その方々が小島信夫と、どのような繋がりがあったかなどの説明もしていただきました。

タウンウォッチングでは、コース案内をしていただいた富樫幸一先生に、小説に出てくる各ポイント等で、その場所の歴史など、まち歩きに精通された先生ならではの解説がありました。また、「中嶋祥雲堂」では、小説の中で「若主人」と紹介されている現在のご主人に、「ご自身や先代」と「小島信夫やその小説に関わる人たち」とのエピソードなど、この岐阜文学散歩でしか聞けないようなお話をして頂きました。

参加者の皆さんからは、「『美濃』は難しそうだが、是非読んでみたい。」「素晴らしい講義であり、良く理解できました。」「中嶋祥雲堂のご主人の話が聞いたことは、興味深く良かった。」「まちの良い所などを再発見・再認識できました。」などの感想が寄せられ、有意義な時間を過ごして頂いたようです。



柳ヶ瀬あい愛ステーション内



旧近鉄百貨店前交差点



中嶋祥雲堂前



ご主人よりお話



たつみ茶寮 周辺



高島屋前



タウンウォッチング スタート



ぎふしまちなか歩きマップ（岐阜市の「まちあるきマップ」を作る実行委員会）より抜粋



林正子先生の講義



タウンウォッチング 出発前に全員で集合写真